

相互提案型協働事業実施報告書

令和7年 4月 21日

(宛先) 座間市長

団体 住 所 座間市入谷西 5-4-19

名 称 ぞま子育て応援プロジェクト!

代表者名 代表 高澤 真奈美 

市 担当課名 こども未来部 こども家庭課

所 属 長 曾我 豊一 

次のとおり報告します。

1 事 業 名	子育てを健やかに行うための環境づくり事業
2 事 業 形 態	☒ 市民活動団体提案協働事業 ☐ 市提案協働事業
3 選 考 年 度	令和5年度選考 (令和6年度実施)
4 報 告 期 間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで
5 事 業 費	452,800 円 (うち座間市支出分 450,000 円)
6 事 業 概 要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は、別紙事業評価シートに御記入ください。	産前・産後のからだケア教室を1年間全14回開催しました。産後講座は2023年9月から実施し、95名の産後1年以下の座間市民の方に参加していただきました。98.9%の方が「参考になった」と回答し、53.7%の方が講座の内容(自身の身体のケアや育児の仕方)について「ほとんど知らない内容であった」と回答しています。96.8%の方が講座について「満足」と回答しています。産前講座は2024年6月から実施し、12名の産前の方に参加いただき、満足度は100%となっています。 母子手帳と一緒にからだケアBOOKも1年間継続して配布することができております。 12月15日には、地域の子育て家庭の居場所の情報発信を目的とした「みんなのよりどころ」イベントを開催しました。学習支援、サークル、子ども食堂、子育て支援センター、ファミサポなど様々な団体が協力し、さらに終了後に交流会も実施し、団体同士の横のつながり作りにも貢献しました。
7 添 付 資 料	☒ 収支決算書 ☒ 事業詳細報告書 ☒ 事業記録写真 ☒ チラシなどの広報資料 ☒ 作成した冊子などの資料 ☐ その他 ()

相互提案型協働事業評価シート

事業名	子育てを健やかに行うための環境づくり事業
-----	----------------------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項 目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	所期の目的は、十分達成できましたか。	
	達成できた。	達成できた。
事業成果・効果	事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。	
	産後講座は2023年9月から実施し、95名の産後1年以下の座間市民の方に参加していただきました。98.9%の方が「参考になった」と回答し、53.7%の方が講座の内容(自身の身体のケアや育児の仕方)について「ほとんど知らない内容であった」と回答しています。96.8%の方が講座について「満足」と回答しています。 産前講座は2024年6月から実施し、12名の産前の方に参加いただき、満足度は100%となっています。母子手帳と一緒にからだケアBOOKも1年間継続して配布することができております。	「産後のからだケア教室」に続き、妊娠中からの身体ケア講座も開催し、これまで行っていた産前産後ママのからだケアBOOKと合わせ、妊娠から出産・子育てを通して切れ目なく支援できるようになった。 産前産後の家族が参加できるイベントを開催したくさんの人に参加いただくことができた。

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項 目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。	

	おおむね共通の認識を持つことができていますと考えます。 予約状況が安定していなかったため、より頻回のコミュニケーションが必要だったかもしれません。 ざま KOP：予約状況 市役所：広報をどの程度おこなったか	連絡を密にとり課題及びその解決について共有することができた。
事業の進行管理	進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。	
	状況が変更になりそうな場合には必ず情報交換をおこなっておりました。また妊娠中の身体ケア講座中に体調不良の方がいらっしゃいましたが、その結果を踏まえて次回リスク管理のための話し合いなども行えました。	イベントについても当初の目論見と異なった部分もあったがその都度必要な修正を行い開催することができた。
対 等 な 関 係	協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。	
	対等な立場として対応いただいていたと思いますが、課ではなく担当の方とのみやり取りをしていたイメージで、課全体で協働事業の内容を共有していただいていたか疑問はありました。	市の側からも可能であることと困難なことを率直に説明し、団体からも率直な意見をいただき、対等な立場で意見の交換を行うことができた。
相 互 理 解	相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。	
	もう少しお互いに頼りあうことができればもっと効率的にできたかと思いました。 少し当団体から行政への一方向性の関係だったかと思いました。	市民団体ならではの柔軟な意見を多数していただき、協働の強みを生かすことができた。

3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果たすことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。
---------	-----------------------

	(団体の役割) ・からだケア BOOK の印刷 ・「ママと赤ちゃんの身体ケア講座」 「妊娠中からの身体ケア講座」の主催と保育人員など人的資源の準備と配置 ・上記情報や子育てに役立つ情報発信	(市の役割) ・イベントの広報、場所の確保、アドバイス、冊子の配布等
--	--	---

項 目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適 正 さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	やや負担は多かった印象ですが、概ね適正でした。	適正だったと考える。
実 施 結 果	設定した役割分担を果すことができましたか。	
	果たすことができましたと考えます。	果たすことができました。
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	できたと考えます。	それぞれの強みを生かすことができ、単独で実施する以上の成果を上げることができた。

4 今後の具体的な展開

事業の波及効果	今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。	
	(団体の考え) 全国ではすでに複数の自治体で、妊娠中・産後ケアを行政と連携して行う動きが始まっています。座間市でも本事業の継続が望まれます。 出来ること出来ないことがあると思いますので、すり合わせながら話をする機会をいただきたいと思います。	(市の考え) 引き続き同様の形で事業を進めていきたい。